

系 統 不飽和ポリエステル樹脂系プレパックスドコンクリート

特 長 1) 速硬化性、低温硬化性に優れる。  
2) 寸法安定性に優れる。

用 途 1) 急速施工が必要な沓座補修用

配 合 比	# 7 0 7	乾燥粗骨材 # 5 1 0	合計
配合比(重量比)	1	3 . 7	
1 m <sup>3</sup> 当たりの 標準使用量 (kg)	4 3 5	1 6 1 5	2 0 5 0

# 7 0 7 と乾燥粗骨材の配合比は施工箇所によって異なる場合がある。

荷 姿 1) # 7 0 7... 1 0 kg セット (主剤 + 硬化剤 + 促進剤 + 充てん材)  
2) 接着剤用乾燥粗骨材 # 5 1 0... 3 0 kg / 袋

可 使 時 間 # 7 0 7 の可使時間

温 度 [ ]	5	1 0	2 0	3 0
促 進 剤 [本]	3	2	1	1
可使時間 [分]	2 5	3 0	2 0	8

比 重 2 . 0 5 ± 0 . 1 0 (硬化物)

使 用 方 法 1) 打設面に # 7 0 7 プライマーを 0 . 2 kg / m<sup>2</sup> 塗布し、乾燥後、# 5 1 0 骨材を充てんする。  
2) # 7 0 7 の主剤、硬化剤、充てん材をセット単位で均一になるまで混合攪拌し、その後、所定量の促進剤を加え混合攪拌する。  
3) 骨材が充てんされた型枠内に注入する。

使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去)  
2) 促進剤を添加しないと硬化しないので、促進剤を必ず添加すること。  
3) 促進剤の添加量は、施工温度における強度発現性と可使時間を考慮し決定する。  
4) 充てん材を添加しないと、付着性、低収縮性が低下するので、必ず添加すること。  
5) 硬化が速いので、可使時間に十分注意する。

### ⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド # 7 0 7 の製品安全データシート (MSDS) を参照してください。